

友だちと一緒になら



雨がしとしとと降る月曜日。今日はすみれ組さんが園内探検に出かけていました。普段、1階のフロアで生活しているすみれ組の子どもたち。階段を登って2階のフロアにお出かけすることでウキウキな表情が見られていました。担任のはつみ先生とさきこ先生と一緒に園内探検の始まり始まり☆

朝はまだまだ慣れない部屋にドキドキしたり、新しい先生にびっくりしてしまうことがあります。ですが、10分もすると大体のお友達が遊び始めます。初めての園生活のお友達もいるので、幼稚園ってこんなところなんだよ。と感じてもらえる配慮も保育者は行います。しかし、子どもたちにとって一番の安心材料はお友達。「一緒に行こう?」「一緒に遊ぼう!」「仲間に入れて?」そんな言葉が次第に増えていき、ここにいいんだという安心感や明日もまた来ようかな?という前向きな気持ちへと変わっていきます。園内探検が終わる頃には子どもたちは「一緒にお部屋帰ろう!」と友だちと一緒にお部屋に帰る姿が見られました。

お当番



給食の時間、年中さんになったゆり組の子どもたちが調理室へお昼ごはんを受け取りに並んで出発している姿がありました。年中さんになり自分のことだけでなく、クラスのみんなの代表としてご飯を撮りにいく”お当番”に挑戦している様子です。

みらいえの入り口に立ち止まって・・・
今日のメニューを確認します!

そのあとは、先生と一緒にメニューを覚えるのに挑戦!
部屋に帰ったら友だちにお当番さんから教えてあげます!

進級を楽しみにしていた年中さん。自分のことも、みんなのことも。色々なことに挑戦する中で、一緒に生活する仲間の存在を感じ、支えてくれている周りの人存在を知っていくように思います。

